

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2022.2.25

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

3月の石神井川観察は、3/10(木)、3/25(金) 9:40JRマンション前
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

またまた懲りずに いきなりクイズ! この写真に写っている
野草はなあに? 「カメレオン・グラス」!?

左下の緑の大きな葉はチューリップらしき植物、右上の小さな丸みを帯びた小さな葉はオランダミミナグサだと思われるのですが、画面中央をよ〜く見ると、土の色に溶け込んで何やら葉っぱらしいものがいっぱい見られます。



土と同じ色に葉色を変える「カメレオン・グラス」?????。正解は次ページに。

そんな植物はありません。ニリンソウの葉っぱが地上に顔を出したばかりの姿がこれです。

板橋区のツイッターでは2/20現在の赤塚公園でのニリンソウの展葉状態が紹介されましたが、葉がすでに緑色になっていました。2/25の石神井川緑道ではそれよりももっと若い、地上に出たばかりのニリンソウ。まだ葉に葉緑素をため込んでいない状態です。去年は2/11にもっと若い地上から芽を伸ばしたばかりのもやし状のニリンソウが観察されましたが、去年よりも2週間遅い観察でまだ赤茶色の葉だということは、展葉は去年よりも7~10日ほど遅いということです。

石神井川緑道を通行する人々は誰もこれがニリンソウだと気付いていません。いつもの観察コースから外れたところなので記録には残していませんが、記憶には残しておきましょう。

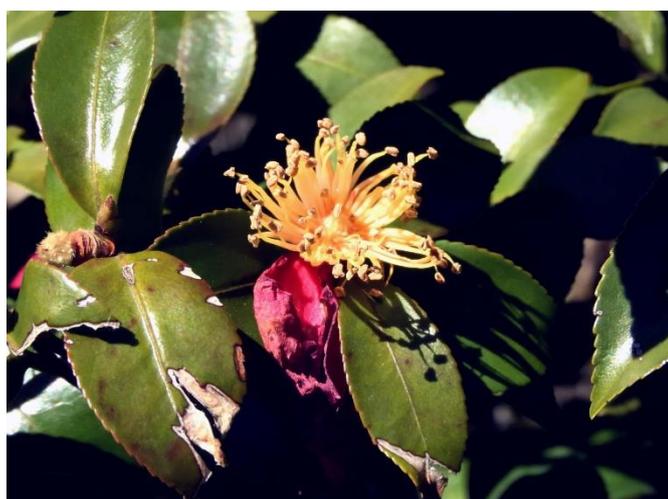
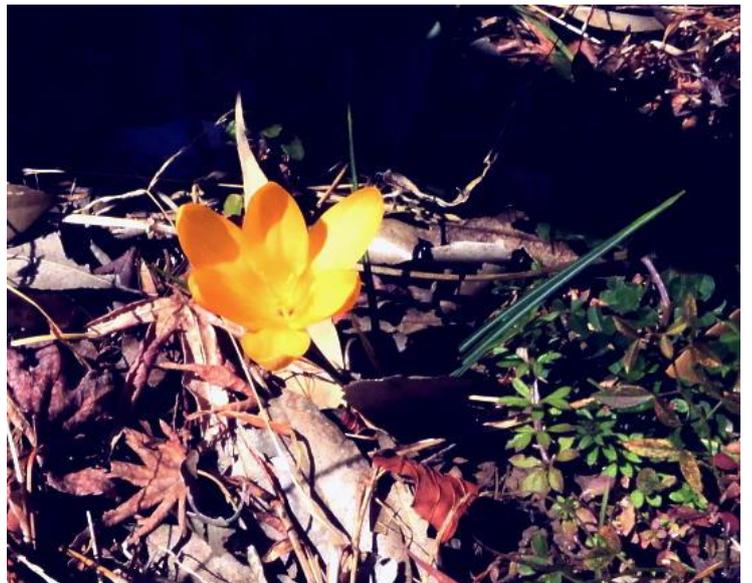
帝京大学附属病院北側の道路、交互交通でもうすぐ整備完了



さて、面白いことに、JR社宅前は街路樹で仕切られた二重歩道になるようです。写真の左側の白いガードレールがこれまでの街路で主な観察ポイントなのですが、ここが結構面白いところなのです。昨年から、クサノオウやメマツヨイグサなど初めてお目にかかる植物が続出、今日は何と**クロ**

ツカスが咲いていました。クロッカスそのものは園芸種ですが、草刈りで地肌むき出しになる街路樹の下でもたくさんの植物が生きている見本のようなこの歩道、大事にしてほしいな。

これまでは一方通行で、JR十条駅方向から病院へアクセスするのがとても不便だったのが解消されそうです。10年越しの工事がようやく終わるのですが、「抜け道」だった我が家の前の交通ラッシュは解消されるのか、出来てみなけりや分かりません。



「なるほど、これはサザンカだ」とわかる花の枯れ方

寒い日が続いているとはいえ、冬を彩るサザンカの花ももうおしまいの時期になりました。ツバキは花全体が一体なってドサリと落ちるのに、サザンカは花びらがバラバラに、そして雄蕊と雌蕊もまだ残っていました。なお、サザンカとツバキの違いは葉の鋸歯、枝の細毛のありなしで見分けます。**どっちがどっち？ さあ、調べよう！**